

高岡の森 弘前藩歴史館

～開かれる
弘前藩の宝蔵～



第1 展示室

歴史館のシンボル「津軽信政着用具足」で皆さんを出迎えます。藩主のため特別にあつらえられた、金工・漆工・染織の総合芸術ともいえる具足を四方から観察できます。また、岩木山と津軽家の関係や、津軽家が治めた領土を視覚的に捉えて、歴史館の立地を意識していただきます。



第2 展示室

弘前藩の歴史年表や津軽家の家系図、弘前城下の絵図により弘前藩政全体を感じつつ、初代藩主為信から四代信政に至る歴史をたどります。種里城・大浦城・堀越城・弘前城といった津軽氏の居城の変遷を踏まえ、岩木山を中心とした地域を地形模型で確認できます。



特別展示室

信政の時代には多くの技術者が招かれさまざまな産業が興り、文化が根付きました。その時代から始まった津軽塗に関する資料や、弘前藩お抱え絵師が描いた屏風を展示しています。歴史館の展示室の壁面は紺色ですが、これは刀剣や金屏風が美しく見えるよう配慮し選定したものです。



第3 展示室①

弘前城中で使用された衝立や、没後高岡の地に葬られるまでを描いた絵巻、高照神社の整備に関わる品々を展示しています。長さ10mにもわたる葬送図や、大型の絵図、藩主たちが奉納した大絵馬は、タッチパネルによってその全貌を見ることができます。



第3 展示室②

明治10年に初代藩主為信が高照神社に合祀された際、津軽家や旧藩士たちが宝物を奉納したことによって、数多くの刀剣類を所蔵する特徴的な宝物群が形成されました。武士の魂とも称される日本刀の奥深い精神性に触れ、鍛錬によって生み出される芸術性を楽しむことができます。



左から、歴史の重みを感じさせる鎧兜(よろいかぶと)／武士にとって刀だけでなく「弓馬」も重要／好学の藩主信政も入門した山鹿流兵学(やまがりゅうへいがく)



高岡の森弘前藩歴史館は、高照神社などで保管されていた武器や甲冑、絵馬を展示しているほか、弘前藩の成り立ち、津軽信政の功績、武家文化などを紹介しています。歴史館の北側に馬場跡も復元し見学することもできます。事前に連絡をいただければ学芸員による解説を受けられる場合もありますので、皆さん弘前市の歴史を学びにぜひおいでください。

高岡の森弘前藩歴史館
加藤 裕敏 館長

来館者の声



鎧にも種類がいくつかあることを知れたり、弘前市の歴史を学ぶことができ楽しかったです(小笠原さん親子)

高照神社の宝物殿では見られなかったものも展示されていたし、説明書きもあって分かりやすかったです(小林さん)

施設概要

▽ところ 高岡字獅子沢 128 の 112 (高照神社隣)

▽開館時間 午前9時30分～午後4時30分

▽観覧料

	個人	団体	歴史館・博物館共通券	個人	団体
一般	300円	220円	一般	420円	310円
高校・大学生	150円	110円	高校・大学生	210円	160円
小・中学生	100円	50円	小・中学生	140円	70円

※20人以上で団体料金。障がい者(介助者含む)、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。
▽休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

■問い合わせ先 高岡の森弘前藩歴史館 (☎83・3110)



江戸時代に神馬奉納が行われた馬場で、土塁などを復元しました。境内の建造物とともに当時の雰囲気を感じてください。